

# すぎのこ

132

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

事務局:〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264  
演劇研修センター:〒357-0063 埼玉県飯塚市飯塚325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155  
演劇研修センター:〒377-1611 群馬県吾妻郡晴波村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2013 10/1

2面・3面 園からのお便り／文化部の活動／いいだ人形劇フェスタ／保育に役立つ人形の作り方・演じ方講習会開催／賛助会のご案内 ほか  
4面 事務局だより／本紹介／新人紹介 ほか

http://www.suginoko.org/

E-mail: support@suginoko.org



舞台にあがった人形の、動かないはずの顔が、なんともいえない趣のある表情を見せることがあります。それは人形を遣う醍醐味の一つなのですが、普段自分が遣う人形の表情をお芝居の中で見ることはまずないので、ふと忘れがちになってしまってもあります。その面白さ、素晴らしさを再認識させてくれたのが、毎年8月に長野県飯田市で開催されている人形劇フェスタでした。

今夏、すぎのこも「どろぼうのなみだ」を上演させていたのですが、地元の小学生が作った劇団が人形劇を演じてか

## どろぼうのなみだ班

榎崎 数馬

# 遊園地のお祭り



ら、私達の作品を上演する、という、いわゆるジョイント公演形式の舞台でした。小学生が人形劇をしている間は、私達も観客として客席からそれを見ていたのですが、先述した妙味を感じたのは、その小学生が持つていた人形からでした。

からも、子ども達が心を弾ませるような喜怒哀楽の表情をたくさん感じてもらえるよう、日々懸命に、そして楽しく上演を続けて参ります。

## たのきゅうのうわばみだいじ班

岡部 千絵

二学期から中国・四国地方をまわっている「たのきゅう班」です。

9月の初めからしばらく雨が降ったり止んだりの日が続いていて大変な日もありましたが、だんだんと涼しくなってきたので、熱中症の心配がなくなってきました。でも水分は、まだまだ欠かせないですね。

私達が連れていく人形

子ども達は本当に元気です、すごいなあーと思います。大人になるとどうしてもいろいろ弱くなってしまう部分もあるのですが、少しでもパワーをもらえたらいいなと思います。作品に関しては、みんな喜んでくれ、印象に残っているという感じなので、あまり力まず頑張っていけたらいいなと思いつつ、夏に消耗した体力を少しでも戻していきたいと思

います。「雨にも負けず、風にも負けず」の毎日です。

## ねずみの嫁入り班

高橋 麻衣

8月の終わりから東北地方での公演がスタートしました。私の父が福島出身なので、子どもの頃はよく帰省していました。今回初めて行くところもたくさんあるので、毎日がとても楽し



みです。公演が始まって2日目に、青森県むつ市の脇野沢保育園で公演をしました。子ども達が10人もいない保育園ですが、毎年すぎのこの公演を見てくださっています。

公演日はあいにくの雨でしたが、保育園の子ども達や小学生、保護者の方々が集まってくださいました。子ども達はもちろん、皆さん最後までとても熱心に見てくれました。観劇に来ていただいた方にとって、楽しい時間となった様子で嬉しく思いました。



すが、「ねずみの嫁入り」と「三匹のこぶた」は、子ども達の反応もすごくよい作品です。これからもたくさんの子も達に元気いっぱい観てくれるように、頑張っていきたいと思います。

## わらしへ長者班

太田 令

新しい作品、メンバーとなり、また旅が始まりました。

今回も、夏休みから作品が変わり、必死に稽古をこなしました。セリフや舞台での段取りを1から覚えたのですが、今までの自分ではないと思うぐらいの速度で、覚えていきました。

これまでも様々な作品をやってきましたが、今でもしっかりと成長しているのだと実感できました。実際に旅に出ると、子ども達の反応の中の舞台となります。現在のところ反応は上々という感じで、夏休みの間の必死の稽古は決して無駄にはならなかったんだ、と改めて実感できました。

余談ではありますが、今回旅を開始するとすぐに台風がやって来ました。どんなに長い間この仕事をしていても、天候への不安はなかなか消せそうにはありません。

# 園からの お便り

静岡県藤田幼稚園より



## たのきゅうのうわばみだいじ

■ 榎橋保育園 (鹿児島県指宿市)

小さい子ども達には、ちよつと長いお話だったかなと思いましたが、子どもから大人まで、みんなすっかりお話の中に入って楽しんでいました。今回初めて保護者の方にも見ていただきました。「生の人形劇を間近に見られて、とっても楽しかったです」という感想がたくさん寄せられました。声の出し方、人形の動き、表情、表現力：私達も少しも近づきたいなと思いました。

■ 立野川内保育園 (佐賀県武雄市)

劇場と違ってすぐ目の前で演じられるのを見て、子ども達自身、臨場感を持って見ることができました。目の輝きが違いますね。

また来年もよろしくお願ひします。

■ 安岐児童クラブ (大分県国東市)

お二人の演技 (特に一人で役もの演技) の素晴らしさは、子ども達の目を、気持ちと、とりにしてしまいました。幼く低学年は、「うわばみ」が登場した場面では、怖さで少し緊張していましたが、演技やお話に魅了されていきました。子ども達からも



劇団すぎのこの

「たのきゅうのうわばみだいじ」を見ました

7・19(木)、子どもたちが楽しみにしていた劇団すぎのこの人形劇がおいしかったです。にんじん、だいこん、ごぼう、のかぼちゃのきゅうがうわばみ(へび)を通過する「たのきゅうのうわばみだいじ」のお話をみんなが真剣に食い入るように見てきましたよ。最後にうわばみと記念撮影しました。

福岡県筒井保育所より

「らしべ長者」の作品だと思いましたが、先陣の歴史を学んで、ぜひ続けてください。

■ 吉前保育園 (北海道苫小牧市)

開演前や開演後など、劇中ではない時間の中でも、子ども達へ、優しく温かに寄りそった言葉をかけてくださり、子ども達がとても嬉しそうでした。

「らしべ長者」というお話も、子ども達へのメッセージが温かく伝わる内容で、笑いもあり、とても素敵でした。突然お話が始まるのではなく、違うキャラクターが出てきて和ませてくださったことで、子ども達も安心して、楽しくお話に入ることができたと思います。

## わらしべ長者

■ 中川町幼児センター (北海道中川郡)

毎年、良い作品を観る機会をつくっていただき、感謝しております。

観劇した保護者の方からも、「大人が観てもとても良い作品だった」との感想が寄せられました。間のとり方・人形の動き

・笑いを引き出す動きとやりとりなど、いつも保育のヒントとして観せてもらっています。来年度もお待ちしております。

■ あじさい保育園 (北海道帯広市)

・演出、演技、美術等、みんなの力で作られた作品だと思えました。

・演技者の声も自然で、全体に伝わり、会場がとても優しい雰囲気の中で見る事ができました。

・舞台の三人だけで演じているのではなく、支えている人達の思いを感じられました。「すぎのこ」で創りあげた「わ

## ごぼうのなみだ

■ 若草保育園 (東京都豊島区)

大きい子ども達(3、4、5才児)は笑ったり、手拍子をしたりして、一緒に楽しんでいました。人形の動きと共に体を揺らし、おもしろい場面になると隣り同士で話したり、笑ったりで盛り上がっていました。子ども達は、怖いもの見たさがあり、おぼけやゆうれい、どろぼう、それにウンチの話が大好きで悪のりしがちですが、今回はどのクラスも集中してよく見ていました。

■ 善昌寺保育園 (新潟県長岡市)

少し難しい内容だったようですが、子ども達は一緒に笑い、一緒に応援し、怖くなるその後ず

さりしたり、涙を流したりと、人形劇の世界に入り込んでいる様子がかかえ、とても嬉しかったです。

■ 鹿苑第一保育園 (福井県福井市)

わかりやすいストーリーの中に、自然を守ることや仲間の大切さなどが盛り込まれていて、子ども達も物語の中に入り込み夢中になって見ていました。

職員も、日頃の絵本の読み聞かせや、ペープサート、パネルシアターで演じ手となる際の勉強になりました。

■ 小立野善隣館愛児園 (石川県金沢市)

朝早くから舞台の準備等ありがとございました。何度か観劇をさせていただいていますが、ブラックライトを使ったものを初めて見させていただきました。パネルシアター等とはちがって舞台は大きく、とても幻想的でした。少し難しくはありますが、学びのある内容で、子ども達も何か気づきがあったと思います。みんな喜んで見ていました。

拝啓  
セミの鳴き声が朝から騒々しく聞こえ、暑い一日の始まりです。先日は、とても楽しい人形劇をありがとうございました。ペープサートと人形劇で、あつという間の一時間でした。大きなうわばみに驚いた子どもたちでしたが、後で、「おもしろかった」と、それも細かにどの辺がおもしろかったか、各々、話してくれました。5才、4才、3才の子もたちが描いた絵を送ります。  
また、機会があれば、よろしくお願ひします。  
7月16日 山里平和保育園 谷ゆりか

## 文化部の活動 影絵紙芝居DVD、完成!

このたび(公財)JKKAの補助を受け、すぎのこが企画・制作をした、影絵紙芝居DVD、影絵紙芝居用舞台が完成いたしました。東日本大震災被災地である宮城県の教育施設、福祉施設に無料贈呈いたします。

「美しい影絵を見てもらうことによって、想像力を養い、創意と行動力のある心の優しい子になってもらいたい」

「受け継がれてきた素晴らしい日本の心を、民話を通して感じてもらいたい」

今回の事業には、そんなすぎのこの思いがたくさん詰まっています。

また、今回制作を担当して、参加して下さったスタッフの方々の熱い思いをひしひしと感じることが何度もありました。そんなスタッフの方々の妥協しないプロ意識が、素晴らしい出来栄につながったと思います。贈呈先の宮城県の子ども達から今後どのような反響があるのか楽しみです。今回の事業が、

子ども達の心に夢と希望の種を蒔くことができれば、幸いです。  
(浅野茜子)

監修/小澤幸雄  
演出/下村あきら  
脚本/浅野茜子  
影絵/上田順一  
音楽/夏原明俊  
宣伝美術/石橋鉄二  
写真/森田研作  
製作・撮影協力/ (有)ブレイク・タイム  
声の出演/北斗誓一  
品川美咲子  
設計・製作/ 高木政則(なかよし工房)



影絵紙芝居用舞台



福岡県洗心保育園より

# 「保育に役立つ人形の作り方・演じ方」講習会

去る8月9日(金)、埼玉県国公立幼稚園教育研究会主催による「保育に役立つ人形の作り方・演じ方」講習会が、埼玉県伊奈町にある埼玉県民活動総合センターで開催されました。

この講習会は、保育の場でもっともっと人形を活用してほしい、という願いのもとに、全国各地で当財団が実施しています。

当日は、猛暑にもかかわらず、埼玉県各地から60名余りの先生方の参加がありました。

はじめに、巡回公演で使用している様々な人形を紹介しました。先生方は、普段、なかなか近くで見ることのない人形を手にとり動かしたりしていました。特に、すぎのこが考案した一体三役人形には、とても興味をもってくださり、人形が変化するたびに歓声があがりました。

人形作りは、「時間をかけない!」「お金をかけない!」でできるハンカチ人形です。マジックで顔を描いた紙コップが頭、ハンカチが身体になり、ハンカチの端に菜箸を結んで手を動かすというものです。人形が出来上がったところで、基本的な表現方法を紹介し、実際に人形を歩かせたり、お辞儀をさせたり、手を振ったり、音楽にあわせて踊ったりしました。

最後に基本的なシナリオを基に、異なる幼稚園の先生方二人一組で寸劇を行いました。初めて出会った先生方も、人形を使う、ということもあって、すぐに打ち解けていました。楽しい雰囲気なかで、あっという間に2時間半の講習会予定時間が過ぎてしまいました。

すぎのこでは、これからも「時間をかけない!」「お金をかけない!」でできる人形劇を保育に役立ててほしいと願っています。

この講習会に興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

(下村あきら)



## いい大人形劇フェスタ 2013

去る8月10日、長野県飯田市の日本最大級の人形劇祭り「いい大人形劇フェスタ」にて「とろぼうのなみだ」の上演を行いました。今年で35回を迎えるこのイベントへの参加は久しぶりで、俳優と

制作メンバーも前日からわくわくしながら会場入りし、お祭りの雰囲気とあちこちで行われる人形劇を堪能しました。仕事のかたわらボランティアで活動されている方、簡単な人形で最大限に子ども達を笑顔にするベテラン演者、学業の一環でやっている学生さんのほか、我々と同じくプロの劇団も日本各地や海外からも参加しており、大変刺激を受けました。

今年「劇団かたつむり」の皆さんとの合同上演ということで、子ども達が1から作り上げた「プリーメンの音楽隊」も楽しませてもらい、かわいらしさと一生懸命さに勇気づけられる思いでした。終わってからの交流会では、子ども達から「お兄さん結婚してるの?」なんて質問も飛び出し、笑いに包まれながら無事公演を終え、本当に良い一日を過ごすことができました。皆様、本当にありがとうございました。(白石高章)

# 賛助会員を募集しています!

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々、当財団の活動を側面から支援していただくものです。入会された方には、会員証と共に入会の証としてアンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」バッジ(写真)をお贈りいたします。

## 公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 定款施行細則「賛助会規程」

- 賛助会に「賛助会規程」を以下に定める。
  - 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
  - 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 

個人	年額	3,000円 以上
団体	年額	10,000円 以上
個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
  - 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
  - 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
  - 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
- 会費制賛助会員が2年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が2年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
- 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
- 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
- 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
- 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名することができる。
- 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
- 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
- この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

すぎのこは「税額控除対象法人」ですので、個人の方の賛助会費の一部は所得税の「税額控除の対象」として確定申告により納税額から控除されます。

### 【税額控除について】

#### 税額控除額の算出式

個人が支出した賛助会費(寄付金)について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下の算式により算出された額が、所得税額から控除されます。

〔税額控除対象寄付金(※1)-2,000円〕×40%=控除対象額(※2) ←この額が所得税額から控除されます。〕

※1 税額控除対象寄付金～税額控除対象法人(すぎのこ)への寄附金額(賛助会費)

注: 寄付金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄付金となります。

※2 控除対象額は、所得税額の25%を限度とします。

確定申告時に、領収書と証明書の写し(領収書に同封)を添付して下さい。

お問い合わせ、ご入会は support@suginoko.org または 03-3984-2396 (事務局)



# 独立行政法人日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金助成事業



日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金の助成事業 平成25年度「わらしべ長者全国巡回公演」が活動を展開中です。

子どもたちに「夢と希望」を届けたい。そんな想いを胸に、創立50周年を目前にした我々は、改めて原点に戻りました。昔話を通して培ってきた日本人の心を後世に受け継ぐべく取り上げた民話「わらしべ長者」は、よ

## 事務局 だより

### 研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現財団法人JKA）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」、埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研修センター」があります。いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地しています。

音楽や演劇等の芸術文化活動はもちろん、どなたでも時間を気にせず、自由にのびのびとお使いいただける施設です。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。（利用目

り効果的に表現するため、生の台詞や生の音にもこだわりを持って作品作りをして参りました。今回は「拍子木」の発する生音や、昔懐かしい「紙芝居屋さん」の様式を取り入れ、古来日本各地で親しまれてきた「篠笛」の調べと共に人形劇が進行していくという新しい試みも見られます。

助成事業実施日数、及び回数

巡回公演	日数	回数
北海道	45	79
福岡県	3	5
佐賀県	5	15
長崎県	15	25
熊本県	1	1
大分県	1	1
合計	70	126

的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません）

多目的に活用できる施設となっています。埼玉県飯能市にある「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所でありながら閑静で落ち着いた環境に恵まれ、135㎡の多目的フロアの他、研修室、和室、男女更衣室、シャワールームを完備しており、研修や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用された折には、ぜひ散策してみてもいかがでしょうか。



各施設の  
利用可能な  
期間や時間  
等、詳細に  
つきまして  
は下記へお  
問い合わせ  
ください。

## 横山太郎氏著書の紹介

長年にわたり当財団の理事を務め、公益財団法人移行認定後も財団の顧問である作曲家・童謡研究家の横山太郎氏著『トラベルMOOK「名曲の舞台を訪ねて」』が交通新聞社ジバング倶楽部より刊行されました。

本書は、JRの旅行会員誌「ジバング倶楽部」に、2005年5月号から4年間連載された記事をまとめたもので、旅情あふれる紙面と童謡・唱歌を知ることのできる集大成となっています。幼い頃口ずさんだ童謡や唱歌、ご当地ソングなどに思いを馳せる旅をテーマに、歌の舞台となっている地を訪ね、その歌の歴史や作詞・作曲家の想いにも触れながら、連想する心象風景などを紹介しています。

書籍に関するお問い合わせ及びお求めは、最寄りの書店もしくは交通新聞社第3出版事業部（フリーダイヤル0120-503-128）まで。  
書籍名：「名曲の舞台を訪ねて」（A4変形型128頁オールカラー）  
定価：1,050円  
出版社：交通新聞社



「すぎのこ婦恋研修センター」では今夏、人形劇団「オフィスやまいも」、ボーイスカウト富士見第1団、ボーイスカウト黒第6団の皆様方に、芸術文化活動や野外活動等でご活用いただきました。更に今秋も文化団体様にリピーターとしてご予約を承っております。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。婦恋研修センターに関するお問い合わせ  
E-mail/support@suginoko.org  
または03(3984)2396  
飯能研修センターに関するお問い合わせ  
E-mail/info@suginoko.org  
または042(971)4121  
(創造部)

### 研修センター利用報告



ご利用いただいた皆様、誠にありがとうございました。劇団研究生を募集しています。すぎのこでは、子ども達にナマの舞台の感動を届ける仲間（劇団研究生・人形劇俳優）を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じて、たくさんの方の笑顔に出会えることがこの仕事の魅力です。巡回公演が中心ですので、長期間

### 新人紹介

石山和佳  
6月に入団いたしました。  
現在、10月からの公演に向けて稽古に励んでいます。  
子ども達が夢中になってくれるような人形劇をできたらいいなと思います。  
どうぞよろしくお願ひします。



澤田佳子  
制作部に入団しました。  
以前、人形劇演技者として巡回公演で活動しておりました。今度は、お電話等で公演のご案内をさせていただきますが、その時はどうぞよろしくお願ひいたします。



の出張が可能な方、子ども好き、旅好きの方で興味を持たれた方はぜひ、私達の活動に参加してみませんか。尚、未経験の方は研修・指導を行います。活動内容や条件等、詳しくは左記へ連絡ください。  
E-mail/support@suginoko.org  
または 03-3984-2396 (事務局・清水宛)

- 8/1 第一期全国巡回公演終了
- 8/9 人形劇講習会開催 於・埼玉県伊奈町県民活動総合センター
- 8/10 いい大人形劇フェスタ参加 於・長野県飯田市追手町小学校
- 8/25 創造部公開ゲネプロ 於・飯能研修センター
- 8/30 第二学期全国巡回公演開始

### 活動記録(平成25年7月~9月)